

一斉収穫を目指せ！ブロッコリーの品種特性

概要 Abstract

ブロッコリーでは、花蕾が収穫サイズに達する日にばらつきがあり、販売される規格サイズ幅も狭いため、同一圃場内で2日程度の間隔を空けながら規格に達した花蕾を5~10日間かけて手作業で収穫しています。

収穫回数が多くなるほど労力が掛かることから、今後の機械による一斉収穫の可能性を含め、収穫回数の縮減に必要な特性を明らかにしました。



図1 ブロッコリーにおける規格（青果、加工業務用途）の考え方

成果 Results

表1 各品種の特性一覧（一部抜粋）

品種・系統名	早晩性	収量性		形状	花蕾特性										一斉収穫適性		茎長						
		春	初夏		しまり	凹凸	粒揃い	ボリューム感	アントシアニン	キャッツアイ	茎空洞	青果規格		加工業務含規格									
												春	初夏	春	初夏								
(標準) ピクセル	早生	(□)	(□)	や丸	(□)	(□)	(□)	(□)	(□)	(□)	(□)	(□)	○	□	△	□	○	◎	○	△	□	△	長
(参考) サマーポイント	中生	◎	◎	平	◎	○	○	○	◎	○	○	○	△	△	◎	○	□	○	□	□	○	◎	長
(参考) ジェットドーム	極早生	○	□	や丸~平	□	□	○	□	○	□	○	◎	○	○	◎	□	◎	□	△	□	×	□	や長
SK9-099	早生	◎	◎	や丸	◎	○	○	○	◎	○	◎	□	□	□	◎	◎	○	◎	□	○	◎	○	短
YQQ843	極早生	□	□	や丸	○	□	□	□	○	□	○	□	◎	○	△	□	△	○	□	△	□	△	中
スピードドーム052	極早生	□	□	や丸~平	□	□	□	□	○	□	○	□	○	○	◎	◎	△	△	×	□	□	□	中
B1401	極早生	□	□	や丸	○	□	○	○	○	○	○	○	○	○	□	○	○	□	△	△	□	□	や長
B1414	早生	□	○	や丸	○	□	○	□	○	□	○	○	○	◎	□	○	□	◎	□	○	△	□	や長
スターラウンド	早生	◎	□	丸~や丸	○	□	○	○	○	□	○	○	◎	◎	○	□	◎	□	○	□	○	○	や短

注) 春: 春まき作型 初夏: 初夏まき作型 花・野菜技術センター場内調査(2017-18) 評価: ◎ (優)、○ (やや優る)、□ (標準品種並)、△ (やや劣る)、× (劣る)

表2 一斉収穫可能日数 (2018春まき作型、収穫率80%以上)

品種・系統名	青果規格		加工業務含規格	
	花蕾径8-15cm		花蕾径8cm以上	
	春	初夏	春	初夏
(標) ピクセル	6日間	3日間	2日間	3日間
(参) サマーポイント	5	5	7	9
(参) ジェットドーム	4	2	6	2
SK9-099	5	7	9	7
YQQ843	5	4	5	4
スピードドーム052	2	5	2	5
B1401	4	5	4	5
B1414	4	6	4	6
スターラウンド	5	6	5	7

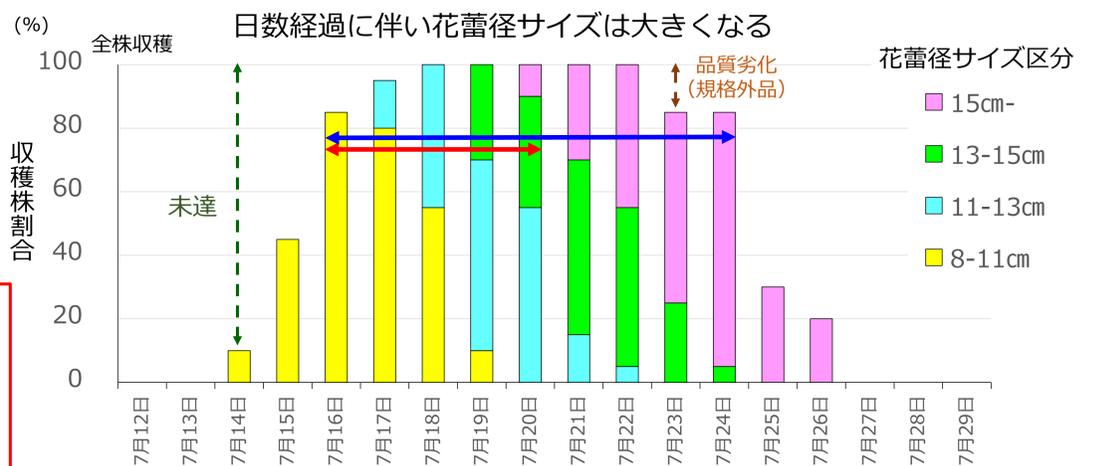


図2 収穫適期幅の考え方
例: 2018春まき作型「SK9-099」

一斉収穫時に収穫率80%以上を目標とした場合
 青果用途規格 (8cm以上~15cm未満) の収穫可能期間 : 7/16-20 5日間
 加工業務含規格 (15cm以上含む) の収穫可能期間 : 7/16-24 9日間

- 一斉収穫適性が高くても、茎長（地際から花蕾頂点まで）が短い品種の場合は茎が固い地際で刈り取る必要があり、手作業による収穫では労力軽減につながらない可能性があります。
- 茎長が短い品種で省力化を目指すためには、低い位置で刈り取り可能な収穫機の普及が望まれます。

連絡先 Contact

花・野菜技術センター
 研究部 花き野菜グループ
 0125-28-2800
 hanayasai-agri@hro.or.jp

普及 Dissemination

産地におけるブロッコリー品種選定時の資料とする。